

平成 14 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 クラレ

コード番号 3405 東京・大阪・名古屋（市場第 1 部）
福岡、札幌

問合せ先 I R・広報室長 吉野 博明 TEL 03-3277-3100

通期業績予想の修正及び特別損失の主な内容について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13 年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表した業績予想の修正及び特別損失の主な内容につき、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 14 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 13 年 11 月 15 日発表)	225,000	11,500	13,000	4,500
今 回 修 正 予 想 (B)	220,000	10,500	13,000	500
増 減 額 (B - A)	5,000	1,000	-	4,000
増 減 率	2.2	8.7	-	88.9
前期（平成 13 年 3 月期）実績	241,670	14,535	19,538	4,565

2. 平成 14 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 13 年 11 月 15 日発表)	315,000	18,000	17,500	6,000
今 回 修 正 予 想 (B)	305,000	18,000	17,500	3,000
増 減 額 (B - A)	10,000	-	-	3,000
増 減 率	3.2	-	-	50.0
前期（平成 13 年 3 月期）実績	313,650	19,931	22,757	4,044

3. 理由及び特別損失の主な内容

株価の低迷が続く中、当社の保有する株式のうち、みずほホールディングス株等時価が著しく下落し回復が見込めない銘柄について、当期末に減損処理を実施することにより約70億円の投資有価証券評価損を特別損失に計上する見込みであります。これにより、当期純利益は中間公表に対して減益となり、単独で5億円、連結で30億円となる見込みであります。尚、この投資有価証券評価損の処理で純資産（単・連とも）は平成13年9月末に比べ約15億円減少する見込みであります。

以 上